

焼鳥屋「鳥貴族」、SDGs への取り組みの一環として
8 月 1 日より食べ残しのお持ち帰り「mottECO（モッテコ）」を開始
昨年に引き続き「緑の募金」への寄付も継続実施

株式会社鳥貴族（本社：大阪市中区 代表取締役社長：江野澤暢男）が運営する税込 390 円均一の焼鳥屋「鳥貴族」は食品ロス削減に向け、8 月 1 日（金）より、食べきれなかった料理をお持ち帰りいただける「mottECO（モッテコ）」を開始いたします。

また、昨年より実施している公益社団法人国土緑化推進機構「緑の募金」への寄付を、今年度も継続して実施してまいります。

■「mottECO」について



飲食店で食べきれなかった料理を、お客様の自己責任でお持ち帰りいただくことの愛称で、環境省が推奨する食品ロス削減に向けた取り組みです。

「mottECO」には「もっとエコ」「持って帰ろう」というメッセージが込められています。

■焼鳥屋「鳥貴族」における「mottECO（モッテコ）」の取り組みについて

食べきれなかった料理をお持ち帰りいただけるように、無料のお持ち帰り袋をお渡しいたします。また、お客様のご希望により、お持ち帰り容器を有料でお渡しいたします。

※非加熱商品等、一部お持ち帰りいただけないメニューがございます。

※トリキ晩餐会での食べ残しはお持ち帰りいただけません。

■公益社団法人国土緑化推進機構「緑の募金」への寄付について

鳥貴族では年間約 1 億本以上の串を使用しています。串の主な材料である竹は、国内における竹材、たけのこの生産が減少したことによる"放置竹林"が問題となっており、適切な整備を行わないと、周辺の森林を枯らしてしまう原因となります。鳥貴族では昨年に引き続き、年間の焼鳥売上の一部を公益社団法人国土緑化推進機構「緑の募金」へ寄付し、国内の竹林の適切な整備とともに、森林を守り、育てる森づくりの活動を支援してまいります。

対象期間：2025 年 8 月 1 日～2026 年 7 月 31 日